



工 事 新 知 識

ユニバーサル・フォーム・クランプ

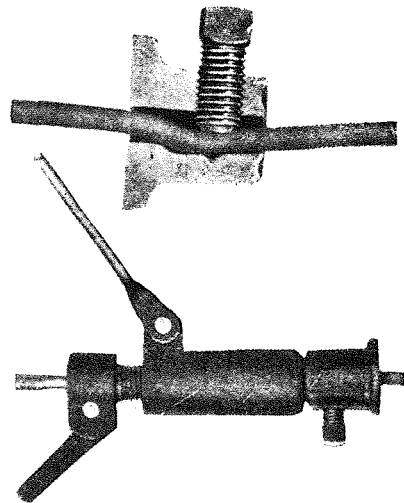
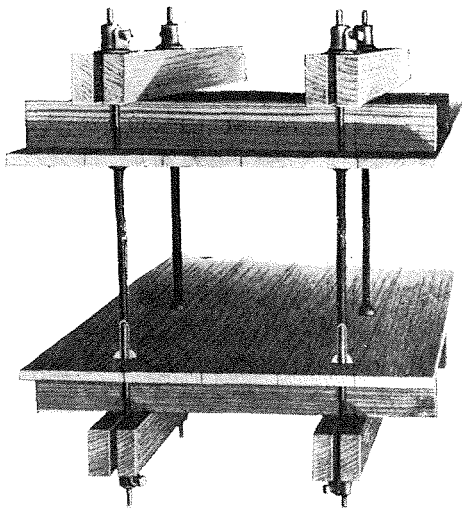
最近米國で使用されてゐる混凝土型枠組立器の一特許品である。

混凝土中を貫く管はワックス・ペーパーの中を通つてゐる。ワックス・ペーパーとはパラフィン油を浸した紙であるから、混凝土硬化後型枠を外す際、鐵棒が大變樂に抜ける特長がある。

ワックス・ペーパー管は内徑 1/4吋乃至 3/4吋位であるが、割合に硬く確かりしてゐるか

ら、兩側幕板を支へる處のスプレツダーとなつてゐる。幕板にする部分の鏑となつてゐるコオンは板を外す時簡単に取れる。

ワックス・ペーパーの代りに穴のある混凝土ブロックを使用した例は我國にもあり、三井信託の工事や、關東水力電氣會社の作久發電所工事にも使用され好結果を収めてゐた。締め付る装置も簡単な構造で、クランプは一個金參拾五錢位で出來るとの事である。



鋼 鐵 の 住 宅

先頃鋼鐵板を銲接して骨組のない家を造ると云ふ試みがクリーブランドの建築家に議せられ、アメリカン・ローリングミル會社の共力によつてクリーブランド郊外ソロンに、近く實現するそうである。八室の居間、二つの浴室、ガレ

ヂ等の建築に要する鋼鐵は14噸、16乃至20ゲージの鋼板を用ひ、屋根壁も床も鋼鐵で柱を使はない、建築費は木造より少し安くつくと云ふ。熱の絶縁や消音装置等には特殊の方法とられてゐる。尙この建築方法は薄い鋼板を箱形にしてその内部石綿、メソナイト板、ウツトファイバー等を填充し之を銲接して壁を作ると云ふ仕組みである。